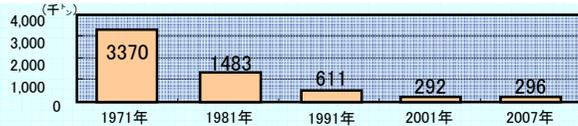


運河の再生(背景・現状)

背景・現状

○東京港には40の運河、総延長は約60km

○はしけ荷役の利用低下



○背後地の土地利用の転換(工場・倉庫等⇒商業・業務施設、住居)

工場・倉庫等



商業施設・住宅等



再生に向けた動き

運河は大都市の貴重な水辺空間
(運河は観光資源)

「水の都」東京の再生

〈参考〉



(江戸湊の賑わい)



(海外の事例)

運河ルネサンス

「新たに観光の視点から運河の役割を見直し、多様な機能を持つ空間として、まちづくりと一体となった利用・活用」

観光振興に資するにぎわい創出

新たな運河利用の発掘・魅力向上

周辺地域の活性化

運河ルネサンスの取組

課題

地域の魅力を発揮できる空間としていくことが必要

水域占用許可の取得

地域における合意形成

民間活力の導入

地元の取組

運河ルネサンス協議会の設置
(地元町会、商店会、NPOなど)

【運河ルネサンス計画の策定】

- ・運河を核としたまちづくりの構想
- ・水域利用の構想
- ・イベント等催事計画

都の取組と成果

運河ルネサンス推進地区の指定

水域占用許可の規制緩和

運河まつりなど地域の取組の支援

護岸・遊歩道などの積極的整備

推進地区間の連携をコーディネート

現在、5地区を運河ルネサンス推進地区に指定

- ①芝浦地区：芝浦運河まつり、多目的棧橋、運河カフェ等
- ②品川浦・天王洲地区：水上レストラン、しながわ運河まつり等
- ③朝潮地区：テラス護岸等
- ④勝島・浜川・鮫洲地区：レクリエーション棧橋等
- ⑤豊洲地区：豊洲水彩まつり、ミニ磯場等

運河ルネサンスの今後の展開

～ 広く東京港全体において運河の魅力を最大限に高め、にぎわいあふれる水辺空間を形成 ～

- ・各運河ルネサンス地区協議会の連携を図るため、地区協議会と地元区(江東、港、品川、中央、大田)が参加する「運河ルネサンス地区連絡会」を設置(平成21年8月)
- ・運河ルネサンス地区協議会間の情報交換等により、地区間交流を促進
- ・運河まつりや護岸美化活動を共同開催するなど、「地区間連携イベント」の検討を開始
- ・新たな運河ルネサンス推進地区の指定に向けた取組を継続して実施

運河ルネサンス5地区の取組概要

① 芝浦地区(平成17年6月指定)

芝浦アイランド多目的棧橋

コミュニーター航路の運航(芝浦～お台場～豊洲)
ボート・ライセンス・スクール など



運河カフェ

地元区と商店会の実験的取組



⑤ 豊洲地区(平成21年7月指定)

豊洲水彩まつり

レガッタ、和船などの乗船体験



ミニ磯場

環境に配慮した護岸の整備



② 品川浦・天王洲地区(平成17年6月指定)

水上レストラン

平成18年2月オープン



しながわ運河まつり

運河クルーズの実施



③ 朝潮地区(平成18年3月指定)

テラス護岸

まちづくりと一体となった親水環境の整備



④ 勝島・浜川・鮫洲地区(平成18年10月指定)

レクリエーション棧橋

カヌー体験等イベント開催(年間15回程度)

